

▼設立準備会日誌

六月二六日 第一回設立準備会

七月一日 準備会活動開始

七月四日 準備会事務局会議

七月九日 準備会事務局会議

七月一八日 準備会事務局会議

七月二七日 準備会事務局会議

八月二日 第二回設立準備会

八月四日 準備会事務局会議

八月五日 上越 地域説明会

八月六日 新潟県の暴力・非行を考
えるシンポジウム

八月一二日 長岡 地域説明会

〃 南魚 地域説明会

八月一八日 準備会事務局会議

八月二九日 第三回設立準備会

九月四日 岩船 地域説明会

九月七日 豊栄 地域説明会

九月二一日 新潟県の暴力・非行を
考える座談会

九月二三日 第四回設立準備会

九月二五日 生活指導研究会

十月一日 準備会事務局会議

十月二三日 第五回設立準備会常任
委員会

十月二三日 長岡 地域説明会

十月二九日 準備会事務局会議

編集後記

子ども・青年の「非行」が戦後第
三のピークといわれてから四年経過
しました。県内は全国平均を上廻る
傾向で、子どもの「非行・問題行動」
は増大し、低年齢化し、女子非行が
増えています。

県内の中学校でも「授業が成立し
ない」苦悩が一般となり、「沈黙化」
した学校も、安心できない生徒の実
状にあります。

教育研究所設立準備会は、最初の
仕事に、新潟県の校内暴力・非行の
実状をあきらかにすることを位置づ
けました。

「暴力・非行を考える」の座談会

を開催しました。

ルポルタージュ「荒れる中学生」

(苦悩する教職員集団)を溝井英雄
氏(児童文学者)に書いて頂きまし
た。

「新潟県の「非行・問題行動」を
考える(1)」を木村がまとめまし
た。

以上、新潟県における、子どもの
「非行・校内暴力」を概観したわけ
であるが、課題は数多くのこされま
した。

・「子どもをどう理解するか」をそ
の発達と、環境に即して明かにし
ていくこと。

・ 地域環境の変化、そこに住む大
人の意識・生活文化と教育とのか
わり

・ 学力、人間形成を任務としても
つ学校(教職員集団)の実状、問
題点と民主的再生の方向

等々、課題は数かぎりありません。
「子どもの暴力は学校の手を負えな
い」として、警察依存の傾向をも
つ現状は深く考えるべき問題です。

八木論文の「子どもの人権と教育」
について丁寧に学習し、確かめなが
ら「教育」の方向をしっかりとつこ
とが重視される必要があります。

「学校の民主的再生」「父母地域
と教職員が一体になって」の実践課
題が「教師が変わること」をぬきに
してないことを自省し、理解しまし
た。

(社団法人)

にいがた県民教育研究所(仮称)
設立準備会

代表 長崎 明

副代表 坂東 克彦

〃 八木 三男

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃

〃 〃 〃